

不適合評価指標の変更について

資料2

2025年10月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- ATENA※1による不適合管理プロセスの改善方針（原子力安全への影響度により注力して確認、再発防止を図ること）が示され、各電力にて評価指標の変更を実施
- 当所ではその方針に基づき、是正処置プログラム(CAP)における不適合評価指標を、「不適合グレード」から、**原子力安全への影響度に主軸を置いた「CAQ(キャック)※2影響度」**に変更
- なお、**CAPの一連の流れ、および不適合の公表対象・公表基準に変更は無い**

【現 行】

	評価指標	具体事例
不適合	G I	①長期入院 ②非常用ディーゼル発電機 複数台故障
	G II	③非常用ディーゼル発電機故障 ④モニタリングポスト伝送不良
	G III	⑤消火設備の機能低下 ⑥タービン建屋 電源盤故障
不適合 以外	X	⑦医療行為のない負傷 ⑧設備の軽微な錆

【変更後】 11月4日公表分より変更

	評価指標	具体事例
不適合	CAQ高	②非常用ディーゼル発電機 複数台故障
	CAQ中	③非常用ディーゼル発電機故障 ④モニタリングポスト伝送不良
	CAQ低	⑤消火設備の機能低下
	Non-CAQ※3	①長期入院 ⑥タービン建屋 電源盤故障
不適合 以外	Non-CAQ	⑦医療行為のない負傷 ⑧設備の軽微な錆

赤枠：公表対象

※1：原子力エネルギー協議会。原子力業界が自主的に安全性を高めるため議論する場であり、当社含む各電力会社やメーカーなどが会員。

※2：原子力安全に影響を及ぼす状態のこと(Condition Adverse to Qualityの略)。

※3：原子力安全に影響せず不適合Non-CAQとした対象についても、従来通り重要度に応じた原因究明・再発防止対策を検討する。

【参考】CAPとは

問題の報告 から アクション までの一連の流れを **CAP※（是正処置プログラム）** という。

※Corrective action program の略

キャップ
C A P

問題の報告

評価

問題の特定

アクション (是正活動)

発見！
ボルトの緩み

カメラ
の故障

情報を
蓄積



CR(コンディション
レポート)を起票

02

これは〜〜

この事象は〜〜



情報毎に 重要度、
影響度を評価

03

何故発生
したのか？



ケガ人の
発生

書類の
紛失

ココに悪さ
がある！

原因・弱点を特定

04



修理・
修復



原因の
除去

現場の改善
& 未然防止

CAQ影響度による
評価に変更